

一関・平泉定住自立圏構想 平泉と共に魅力ある圏域を形成

定住自立圏構想は、一定の都市機能を持つ市と連携市町村が役割分担しながら協力することで、暮らしに必要な生活機能を確保し、圏域の活性化を図ることが目的です。

本市と平泉町は本年度中に「一関・平泉定住自立圏構想」を策定することにし、市は7月23日、圏域において中心的な役割を担う「中心市宣言」を行いました。

それぞれが抱える課題解決のため、圏域形成に取り組んでいくことにしました。

勝部修市長は「この圏域は県内他市に比べて人口減少の速度が速く、地域社会の活力低下が心配される。行政サービスが社会構造に合った形に変えていくことが求められている」と意義を強調しました。菅原正義平泉町長は「両市町の関係をさらに深めることで互いの魅力が増加すると確信している」と話していました。



7月23日、市役所本庁で定住自立圏構想の策定を発表した勝部市長と菅原正義平泉町長

今後、両市町は、議会の議決を経て協定を締結。その後は、将来像や協定に基づき推進する具体的な事業などを盛り込んだ「共生ビジョン」を年度内に策定します。

農林産物の放射性物質濃度測定 タケノコが基準値超

県が「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づき7月に実施した本市産「ブルーベリー」（露地）と「二条大麦」の放射性セシウムは不検出でした。

市民の依頼で市が7月に測定した農林産物は36品目113検体です。食品衛生法上の基準値（一般食品100ベクレル/キログラム）を超えたものは自家消費用タケノコ1検体でした。検出されたものの基準値を下回っているものが36品目61検体、その他の51検体は全て不検出でした。（表1）

本庁農政課農産物流通係 ☎2111（内線8427）

表1 放射性セシウム134と137の合計値の検査区分ごとの検体数(7月分)

種別	基準値(100ベクレル/キログラム)以下の検体数。()内は「不検出」(※注1)検体数	基準値(100ベクレル/キログラム)超過の検体数	
			種別
野菜類	タマネギ	10(8)	0
	ジャガイモ	9(6)	0
	キュウリ	7(5)	0
	ダイコン	4(2)	0
	ニンジン	4(1)	0
果実類	ユウガオ	3(1)	0
	梅	8(3)	0
山菜類・その他	ブルーベリー	6(3)	0
	タケノコ(※)	21(1)	1
	桑の葉	3(3)	0
	フキ	3(1)	0

●測定検体数が3以上の品目の一覧 ●基準値(一般食品100ベクレル/キログラム)に基づき区分。 ※注1…「不検出」は検出下限値未満を示す。2012年10月から検出下限値を下げて放射性セシウムの合計で25ベクレル/キログラム以下になるよう測定 ●測定場所 南部農業技術開発センター(花泉町金沢)、北部農業技術開発センター(大東町摺沢) ●測定機器 トライアスラーベクレルファインダー(シンチレーション放射線各種測定器による簡易測定)

FMあすも専用ラジオ 自動起動試験は9/1(日)午前9時と午後6時

市は、9月1日(日)、「FMあすも専用ラジオ」の自動起動試験を行います。このラジオには、緊急時に市役所や市消防本部から信号を送ると自動でスイッチが入る機能が完備されています。

試験時刻は午前9時と午後6時の2回。市役所と市消防本部にある緊急割り込み放送用の自動起動装置から試験信号を放射します。FMあすも専用ラジオはこの電波を受信すると最大音量になります。うるさいと感じた時は、本体前面の緑のボタンを押すと緊急放送前の状態に戻ります。

試験当日は、専用ラジオのAC電源をつないでおい

てくださいます。当日、電源を入れていたにもかかわらず専用ラジオが自動起動しなかった場合は、受信電波が弱い可能性がありますので、左記まで連絡してください。

本庁生活環境課 ☎2111 / 東山支所地域振興課 ☎472111 / 室根支所地域振興課 ☎62111



勝部市長のお仕事百景

シリーズで勝部市長の仕事を紹介いたします

7/28 豪雨による被害箇所調査

7月26日から降り続いた豪雨で被災した皆さんにお見舞い申し上げます。これまで経験したことのない大雨で住宅、道路、農地など大変な被害が発生しました。平成14年の台風6号より水位が上昇したところもあります。復旧を急ぐとともに安心して暮らせるようしっかりとした対策を行っていきます。



8/5 県への要望

本年度の県に対する要望を行いました。一般要望に先立ち緊急要望を行い、7月26日からの大雨被害に関して恒久的・抜本的な治水対策の促進や激甚災害の指定について県の対応を要請しました。一般要望は、国際リニアコライダー誘致、放射線汚染対策、道路整備など10項目を要望しました。



農業委員 遠藤恭一さん(千厩町)が就任

市農業委員に遠藤恭一さん(59)＝千厩町小梨＝が就任しました。いよいよ東農業協同組合の役員改選に伴い、同組合推薦の委員として選ばれたものです。6月26日、市役所本庁で辞令が交付されました。



「空き家バンク」制度を活用しよう

「売りたい」「貸したい」空き家の情報を「空き家バンク」に登録してください。本市への移住を希望する人や検討している人に紹介します。現在14物件が登録されています。

本庁企画調整課 ☎218641

環境にやさしい防犯灯などをLED化

市は、省エネルギー対策と電気料金など維持管理コスト削減のため、市や自治会が管理する防犯灯、商店街が管理する街路灯、道路照明灯、公園照明灯の発光ダイオード(LED)化を推進します。

LED照明は、発光効率が高いため、従来の蛍光灯や水銀灯などと比べて消費電力が少なく、寿命が10～15年といわれています。

LED化は、2010年度に策定した「一関市地域省エネルギービジョン」に基づき